

徳島大学留学生センター

年 報

第 1 号

2002 年度

2003 年度

2004 年度

年報発刊にあたって

留学生センター年報1号を発刊できましたことをご報告いたします。徳島大学留学生センターは平成14年4月に省令施設として設置され、同年12月には教授3名と助教授2名の教員と留学生課の職員がこれを補佐する体制でスタートし、現在、実質の活動としては約2年半が経過しております。本号は年報といいながら、この2年半の活動記録であります。ただ、この1号は年次計画通りの発行で、今後は毎年発刊される予定のものであります。

設置前の徳島大学の留学生数は地域的な問題もあり少なく、設置基準の留学生数200名に遠く及ばない状態でした。センター設置はいつになるかという状況でしたが、政府の留学生10万人計画などの推進で、前倒しで設置されました。その後、留学生数は順調に伸び、平成17年3月現在229名になっております。

多くの徳島大学教職員は、当時は、いや今も留学生センターの職務は留学生のお世話をするところと理解されているのではないのでしょうか。この年報を読んでいただければ、留学生のお世話をしているだけでなく、日本人学生の海外留学の支援を含め様々な国際交流、連携の活動をしていることを理解していただけるものと考えます。

日本国内の留学生数は10万人を越し、留学生の数より質がいわれるようになり、国際交流の実質のアウトカムが求められるようになっております。しかも、世界の状況は大きく変化し、日本は国際化ということでは逆にアジアの中の孤児になりつつあるといったの過言ではありません。ただ単に、留学生を受け入れ、日本語を学ばせ、日本語で勉強させる時代から、優れた留学生の確保、英語での授業、日本人学生の海外派遣、海外の大学との単位相互認定をはじめとする教育研究協力など徳島大学も本当の意味での国際化をしていかなければなりません。

この4月に徳島大学の国際化ポリシーが制定されます。そして本年中には新蔵地区に地域国際交流プラザが完成し、その中に留学生センターが入ることが決まっております。留学生センターは学生支援業務だけでなく、研究者レベル、大学、地域の国際交流支援、国際貢献など徳島大学の国際的業務の中核的な組織になることが求められております。留学生センターのスタートは遅かったかもしれませんが、今後徳島大学のみならず、徳島県、四国の国際交流、連携の中核にならんことを祈念いたしますとともに、今後ともご支援、ご協力いただけますよう関係各位にお願い申し上げます。

留学生センター長
市川哲雄

目次

留学生センターの歩み -----	3
日本語教育部門（大石寧子 三隅友子 上田崇仁）-----	4
日本語研修コース（大学院入学前予備教育）	
日韓理工系コース（日韓共同理工系学部留学生学部入学前予備教育）	
全学共通教育	
日本語	
日本事情	
全学日本語コース（日本語補講）	
異文化交流部門（坂田 浩）-----	21
相談指導部門（金 成海）-----	24
そのほか-----	25
地域貢献活動	
出張記録	
留学生センター人員名簿-----	29
留学生センター長	
留学生センター運営委員会	
留学生センター教員	
留学生課職員	
非常勤講師（全学共通教育を含む）	
謝金講師	
留学生数の変遷-----	30

留学生センターの歩み

- 2002年 4月 留学生センター設置（初代センター長 岸恭一教授）
教員 三隅友子 教授
金 成海 教授
- 2002年 9月 坂田 浩 助教授 着任
上田崇仁 助教授 着任
- 2002年11月 公開講演会（講師：姫野昌子放送大学教授）放送大学共催
- 2002年12月 開所式、記念講演会（講師：甲斐睦朗国立国語研究所所長）
大石寧子 教授 着任
- 2002年 3月 公開講演会（講師：姫野昌子放送大学教授）
- 2003年 4月 日本語研修コース（第一期）開始
- 2003年 5月 第2代センター長 市川哲雄教授 着任
- 2003年 9月 日本語研修コース（第一期）修了
愛媛大学留学生との交流
- 2003年10月 日本語研修コース（第二期）開始
公開講座「国際交流ボランティア入門」（大学開放実践センター）～12月
- 2004年 1月 公開講演会（講師：田中克彦中京大学教授）
シンポジウム 『大学の国際化』
阿曾沼一 成立命館大学総務部付部長
岡崎智己 九州大学教授
越前谷明子 東京農工大学教授
近藤祐一 南山大学助教授
- 2004年 3月 公開講演会（講師：山田ポヒネック 頼子ベルリン自由大学教授）
日本語研修コース（第二期）修了
- 2004年 4月 日本語研修コース（第三期）開始
留学生支援室（蔵本地区）開室
- 2004年 5月 公開講座「国際交流ボランティア入門」（大学開放実践センター）～7月
- 2004年 9月 日本語研修コース（第三期）修了
- 2004年10月 日本語研修コース（第四期）開始
日韓共同理工系コース 開始
- 2004年12月 公開講演会（講師：足立祐子新潟大学助教授）
国際大学交流セミナー（韓国四大学より来学）
- 2005年 3月 日本語研修コース（第四期）修了
日韓共同理工系コース 修了

日本語教育部門

日本語研修コース（大学院入学前予備教育）

1. コース概要

- 1) 大学院入学前予備教育（大使館推薦）、教員研修生を対象とし、大学院での生活を一人で乗り切れる日本語力を身につける。
- 2) 学内公募制も対象とする。
- 3) 集中講習型

2. コーディネーター

平成 14 年度 三隅友子（学生の留学辞退により実施せず）
平成 15 年度 大石寧子
平成 16 年度 大石寧子

3. 実施概要

1) 平成 15 年度春期

① 開講期間

平成 15 年 4 月 14 日～平成 15 年 9 月 12 日

② 日程

04 月 07 日（月） コースオリエンテーション
04 月 11 日（金） 開講式
04 月 14 日（月） 授業開始
05 月 10 日（土） ホームステイ（1泊2日）
06 月 10 日（火） 第一分冊試験
吉野川見学（協力：国土交通省四国地方国道整備局）
07 月 24 日（木） 研修旅行（日和佐訪問、スピーチ発表、ホームステイ）
07 月 31 日（木） 第二分冊試験
ワン・デイ・トリップ
08 月 02 日（土） 夏休み開始
09 月 01 日（月） 授業再開
09 月 12 日（金） 修了式

③ 受講生

	国籍	性別	進学先
研究留学生	メキシコ	男	徳島大学大学院工学研究科
	メキシコ	女	徳島大学大学院工学研究科
	キューバ	男	事情により帰国
	バングラデシュ	女	香川大学大学院農学研究科
	タイ	女	香川大学大学院農学研究科

④ 教材、担当および時間割

- 1) 使用テキスト：『みんなの日本語Ⅰ、Ⅱ』スリーエーネットワーク
『みんなの日本語初級Ⅰ 漢字』スリーエーネットワーク

2) 学習総時間数：418 時間

3) 担当および時間割

日本語	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:00 ～10:10		大石 上田		大石	上田
10:25 ～11:55	中村	大石 上田	福岡	大石	上田
12:50 ～14:20	中村	大石 上田	福岡	大石	上田
14:35 ～16:05	中村	大石 上田	福岡	大石	上田

2) 平成 15 年度秋期

① 開講期間

平成 15 年 10 月 14 日～平成 16 年 3 月 10 日

② 日程

- 10月06日(月) コースオリエンテーション
10月10日(金) 開講式
10月14日(月) 授業開始
11月08日(土) ホームステイ(1泊2日)
12月05日(火) 第一分冊試験(Aクラス)、第1回試験(Bクラス)
徳島城博物館見学、能体験
12月20日(土) 冬休み開始
01月08日(木) 授業再開
02月06日(金) 研修旅行(鴨島小学校訪問、スピーチ発表)
02月27日(金) 第二分冊試験(Aクラス)、総合試験(Bクラス)
ワン・デイ・トリップ(Aクラス)
『日本語をしようー教員インタビュー』(Bクラス)
03月04日(木) 異文化体験交流会(各国料理紹介ー学生サポーターと)
03月10日(金) 修了式

③ 受講生

	国籍	性別	クラス	進学先
研究留学生	バングラデシュ	男	A	鳴門教育大学授業開発講座
教員研修留学生	韓国	女	B	鳴門教育大学
	エジプト	男	A	鳴門教育大学
	ケニア	男	A	鳴門教育大学
	メキシコ	男	A	鳴門教育大学
	アルゼンチン	女	A	鳴門教育大学
学内公募生	インドネシア	女	A	徳島大学大学院歯学研究科
	中国	女	B	徳島大学大学院人間・自然環境研究科
	中国	男	B	徳島大学大学院医科学教育部
	マレーシア	男	A	徳島大学大学院工学研究科

④ 教材、担当および時間割

1) 使用テキスト:

Aクラス『みんなの日本語Ⅰ,Ⅱ』スリーエーネットワーク

『BASIC KANJI BOOK 1』凡人社

『J Bridge』

Bクラス『みんなの日本語Ⅰ,Ⅱ』スリーエーネットワーク

『J301』スリーエーネットワーク

『表現テーマ別・にほんご作文の方法』第三書房

『BASIC KANJI BOOK 1,2』凡人社

『INTERMEDIATE KANJI BOOK』凡人社

2) 学習総時間数: 403.5 時間

3) 担当および時間割

Aクラス	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:25 ~11:55	中村	大石	福岡	福岡	大石
12:50 ~14:20	中村	大石	福岡	福岡	大石
14:35 ~16:05	中村	大石	福岡	福岡	大石

Bクラス	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:25 ~11:55	福岡	上田	中村	三隅	上田
12:50 ~14:20	福岡	上田	中村	三隅	上田
14:35 ~16:05	福岡	上田	中村	三隅	上田

3) 平成 16 年度春期

① 開講期間

平成 16 年 4 月 13 日～平成 16 年 9 月 10 日

② 日程

- 04 月 09 日 (金) コースオリエンテーション
 04 月 12 日 (月) 開講式
 04 月 13 日 (火) 授業開始
 05 月 15 日 (土) ホームステイ (1 泊 2 日)
 06 月 10 日 (火) 第一分冊試験
 ひょうたん島クルーズ (市内見学)
 07 月 23 日 (金) 研修旅行 (牟岐町訪問、スピーチ発表、ホームビジット)
 07 月 29 日 (木) 第二分冊試験
 ワン・デイ・トリップ
 07 月 31 日 (土) 夏休み開始
 08 月 30 日 (月) 授業再開
 09 月 09 日 (木) 異文化体験交流会 (各国料理紹介 - 学生サポーターと)
 09 月 10 日 (金) 修了式

③ 受講生

	国籍	性別	進学先
研究留学生	セルビア・モンテネグロ	女	徳島大学大学院歯学研究科
	ブラジル	女	徳島大学大学院歯学研究科
学内公募生	中国	女	徳島大学大学院人間・自然環境研究科

④ 教材、担当および時間割

- 1) 使用テキスト: 『みんなの日本語Ⅰ, Ⅱ』スリーエーネットワーク
 『BASIC KANJI BOOK 1』凡人社
 『日本語中級 J 301』スリーエーネットワーク
- 2) 学習総時間数: 373.5 時間
- 3) 担当および時間割

日本語	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:20 ~12:30	中村	大石 上田	福岡	大石	上田
13:40 ~15:00	中村	大石 上田	福岡	大石	上田
15:10 ~16:30	中村	大石 上田	福岡	大石	上田

4) 平成 16 年度秋期

① 開講期間

平成 16 年 10 月 12 日～平成 17 年 3 月 11 日

② 日程

- 10月08日(月) コースオリエンテーション
- 10月12日(火) 開講式
- 10月13日(水) 授業開始
- 11月19日(金) 異文化体験交流会(各国料理紹介-学生サポーターと)
- 12月04日(土) ホームステイ(1泊2日)
- 12月16日(火) 第一分冊試験
徳島城博物館見学
- 12月18日(土) 冬休み開始
- 01月11日(火) 授業再開
- 02月25日(金) 研修旅行(日和佐小学校訪問、スピーチ発表、博物館見学)
- 03月04日(金) 第二分冊試験
- 03月08日(火) ワン・ディ・トリップ(PDAを使用して)
- 03月11日(金) 修了式

③ 受講生

	国籍	性別	進学先
教員研修留学生	タイ	男	鳴門教育大学
	フィリピン	男	鳴門教育大学
	ペルー	女	鳴門教育大学
学内公募生	バングラデシュ	男	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
	中国	男	徳島大学大学院工学研究科
徳島県研修生	中国	男	帰国

④ 教材、担当および時間割

- 1) 使用テキスト:『みんなの日本語Ⅰ, Ⅱ』スリーエーネットワーク
『BASIC KANJI BOOK 1、2』凡人社
- 2) 学習総時間数: 373.5 時間
- 3) 担当および時間割

日本語	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:10 ~11:40	石田	大石 上田	福岡	上田	大石
12:50 ~14:20	石田	大石 上田	福岡	上田	大石
14:35 ~16:05	石田	大石 上田	福岡	上田	大石

日韓理工系コース

1. コース概要

- 1) 日韓共同理工系学部留学生事業によって来日した学生を対象とする。
- 2) 日本の大学に入学して日本人学生と共に学生生活を送る上で必要な日本語および専門科目を学習する。
- 3) 集中講習型

2. コーディネーター

平成 16 年度 大石寧子（留学生センター）、大島敏久（工学部）

3. 実施概要

1) 平成 16 年度秋期

① 開講期間

平成 16 年 10 月 12 日～平成 17 年 3 月 11 日

② 日程

- 10 月 08 日（月） コースオリエンテーション
- 10 月 12 日（火） 開講式
- 10 月 13 日（水） 授業開始
- 11 月 19 日（金） 異文化体験交流会（各国料理紹介－学生サポーターと）
- 12 月 04 日（土） ホームステイ（1泊2日）
- 12 月 16 日（火） 第一分冊試験
徳島城博物館見学
- 12 月 18 日（土） 冬休み開始
- 01 月 11 日（火） 授業再開
- 02 月 25 日（金） 研修旅行（日和佐小学校訪問、スピーチ発表、博物館見学）
- 03 月 04 日（金） 第二分冊試験
- 03 月 08 日（火） ワン・ディ・トリップ（PDAを使用して）
- 03 月 11 日（金） 修了式

③ 受講生

	国籍	性別	進学先
研究留学生	韓国	女	徳島大学工学部

④ 教材、担当および時間割

- 1) 使用テキスト：『文化中級日本語Ⅰ、Ⅱ』文化外国語専門学校
『KANJI IN CONTEXT』Japan Times
- 2) 学習総時間数：373.5 時間

3) 担当および時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:25 ~11:55	日本語 中村		日本語 長田	日本語 大石	日本語 上田
12:50 ~14:20	日本語 中村	化学 林(工)	日本語 長田	日本語 大石	日本語 上田
14:35 ~16:05	英語	物理 金(工)		数学 金(留)	生物 大島(工)

全学共通教育「日本語」「日本事情」

「日本語」 日本語Ⅰ、日本語Ⅱ

1. コーディネーター

平成 14 年度 三隅友子
 平成 15 年度 三隅友子
 平成 16 年度 三隅友子

2. 授業内容

○日本語

日本留学試験の導入により、2002 年から 2004 年には学部留学生の日本語力に変化が見られたため、内容も大幅に変化した。2002 年はほぼ能力試験 1 級を目指した学習者とマレーシアで教育を受けた学習者であったため、主に日本の大学内での日本語の運用力（会話：聴解及び発話）育成を中心としたが、2004 年は 2 級レベルで入学する学習者のために基本的な日本語力（文法及び語彙）にも配慮する一方、生教材「NHK 視点論点」を加工した教材も使用した。日本語Ⅱでは、主に総合科学部（文系）の学生に対して専門書の読解という個別対応も行った。

○日本事情

知識として日本文化を提供するのではなく、協同での課題遂行によって内容を確認及び理解するという学習方法を採った。大学生生活に必要な日本語力を想定し、情報収集及び発信能力（書くこと、発表すること）も学習目標とした。

3. 実施概要

1) 平成 14 年度前期

① クラス編成について

学部学生の入学者が少なかったことと、漢字圏（中国）と非漢字圏の学生を分けためさらに小人数クラスで授業を実施した。

② 教材、担当および時間割

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～					
5/6 12:50～					
7/8 14:35～					
9/10 16:20～	日本語Ⅰ（広田） 日本語Ⅰ（青木）	日本語Ⅰ（河野） 日本語Ⅰ（三隅） 日本語Ⅱ（劉）	日本語Ⅱ（三隅）		

○日本語Ⅰ・月曜日 使用テキスト 自主作成教材及び「速読の日本語」

○日本語Ⅰ・月曜日 使用テキスト 自主作成教材

- 日本語Ⅰ・火曜日 使用テキスト 自主作成教材
- 日本語Ⅰ・火曜日 使用テキスト 新聞記事 JapanTimes
- 日本語Ⅱ・火曜日 使用テキスト 自主作成教材
- 日本語Ⅱ・水曜日 使用テキスト 自主作成教材

2) 平成14年度後期

① クラス編成について

前期と同様。

② 教材、担当および時間割

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～					
5/6 12:50～					
7/8 14:35～					
9/10 16:20～	日本語Ⅰ（広田） 日本語Ⅰ（青木）	日本語Ⅰ（三隅）		日本語Ⅱ（河野）	

- 日本語Ⅰ 月曜日 使用テキスト 自主作成教材及び「速読の日本語」
- 日本語Ⅰ 月曜日 使用テキスト 自主作成教材
- 日本語Ⅰ 火曜日 使用テキスト 新聞記事 JapanTimes
- 日本語Ⅱ 木曜日 使用テキスト 自主作成教材

3) 平成15年度前期

① クラス編成について

別クラス（非漢字圏：集中的な漢字学習）と混合クラス（読解に重きを置かない
会話を中心としたクラス）を実施した。

② 教材、担当および時間割

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～					
5/6 12:50～					
7/8 14:35～		日本語Ⅱ（金澤）			
9/10 16:20～	日本語Ⅰ（広田） 日本語Ⅰ（青木）	日本語Ⅰ（河野）	日本語Ⅱ（三隅）		

- 日本語Ⅰ 月曜日 自主作成教材「読解」
- 日本語Ⅰ 月曜日 自主作成教材「作文」
- 日本語Ⅰ 火曜日 自主作成教材「文法」
- 日本語Ⅱ 火曜日 自主作成教材「文法」

4) 平成15年度後期

① クラス編成について
前期と同様。

② 教材、担当および時間割

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～					
5/6 12:50～					
7/8 14:35～		日本語Ⅰ（金澤）			
9/10 16:20～	日本語Ⅰ（広田） 日本語Ⅱ（青木）	日本語Ⅰ（河野）	日本語Ⅱ（三隅）		

- 日本語Ⅰ 月曜日 使用テキスト 自主作成教材及び「速読の日本語」
- 日本語Ⅰ 火曜日 使用テキスト 「中級からの日本語」他
- 日本語Ⅰ 火曜日 使用テキスト 自主作成教材
- 日本語Ⅱ 月曜日 使用テキスト 自主作成教材
- 日本語Ⅱ 水曜日 使用テキスト 自主作成教材

5) 平成16年度前期

① クラス編成について

非漢字圏の学生数が減ったことや能力の差が小さいことから混合クラスのみとした。

② 教材、担当および時間割

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～					
5/6 12:50～					
7/8 14:35～		日本語Ⅱ（三隅）			日本語Ⅱ（山田）
9/10 16:20～		日本語Ⅰ（石田）		日本語Ⅰ（三隅）	日本語Ⅰ（山田）

- 日本語Ⅰ 火曜日 「アカデミックジャパニーズ」
- 日本語Ⅰ 木曜日 「NHK視点論点を使った総合日本語」
- 日本語Ⅰ 金曜日 「NHK視点論点を使った総合日本語」
- 日本語Ⅱ 火曜日 「専門書を読む」
- 日本語Ⅱ 金曜日 「NHK視点論点を使った総合日本語」

6) 平成16年度後期

- ① クラス編成について
前期と同様。

② 教材、担当および時間割

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～					
5/6 12:50～					
7/8 14:35～		日本語Ⅱ (三隅)			日本語Ⅱ (山田)
9/10 16:20～	日本語Ⅰ (三隅)	日本語Ⅰ (石田)			日本語Ⅰ (山田)

- 日本語Ⅰ 月曜日 「NHK視点論点を使った総合日本語」
- 日本語Ⅰ 火曜日 「アカデミックジャパニーズ」
- 日本語Ⅰ 金曜日 「NHK視点論点を使った総合日本語」
- 日本語Ⅱ 火曜日 「専門書を読む」
- 日本語Ⅱ 金曜日 「NHK視点論点を使った総合日本語」

「日本事情」 日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

1. コーディネーター

- 平成14年度 三隅友子
- 平成15年度 三隅友子
- 平成16年度 三隅友子

2. 実施概要

1) 平成 14 年度前期

① 内容および時間割

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～			日本事情Ⅰ（三隅）	日本事情Ⅲ（三隅）	
5/6 12:50～					
7/8 14:35～					
9/10 16:20～					

○日本事情Ⅰ 使用テキスト 自主作成教材 「ドラマの日本語」

○日本事情Ⅲ 使用テキスト 自主作成教材 「音声のトレーニング及びプロジェクトワーク」

2) 平成 14 年度後期

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～			日本事情Ⅱ（三隅）	日本事情Ⅳ（三隅）	
5/6 12:50～					
7/8 14:35～					
9/10 16:20～					

○日本事情Ⅱ 使用テキスト 自主作成教材 「ドラマの日本語」

○日本事情Ⅳ 使用テキスト 自主作成教材 「吉野川プロジェクト」

3) 平成 15 年度前期

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～			日本事情Ⅰ（三隅）	日本事情Ⅲ（三隅）	
5/6 12:50～					
7/8 14:35～					
9/10 16:20～					

○日本事情Ⅰ「発音と総合日本語」

○日本事情Ⅲ「ドラマの日本語」

4) 平成 15 年度後期

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～			日本事情Ⅱ（三隅）	日本事情Ⅳ（三隅）	
5/6 12:50～					
7/8 14:35～					
9/10 16:20～					

○日本事情Ⅱ「吉野川プロジェクト」

○日本事情Ⅳ「ドラマの日本語」

5) 平成 16 年度前期

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～			日本事情Ⅰ（三隅）	日本事情Ⅲ（三隅）	
5/6 12:50～					
7/8 14:35～					
9/10 16:20～					

○日本事情Ⅰ「発音・朗読・発表」

○日本事情Ⅲ「ドラマの日本語」

6) 平成16年度後期

時・日	月	火	水	木	金
1/2 8:40～					
3/4 10:25～			日本事情Ⅱ（三隅）	日本事情Ⅳ（三隅）	
5/6 12:50～					
7/8 14:35～					
9/10 16:20～					

○日本事情Ⅱ 「ドラマの日本語」

○日本事情Ⅳ 「吉野川プロジェクト」

全学日本語コース

1. コース概要

- ① 徳島大学のすべての留学生を対象とする。
- ② 徳島大学のすべての外国人研究者を対象とする。
- ③ ①および②の成人の家族も対象とする。
- ④ 常三島および蔵本の両キャンパスで開講する。

2. コーディネーター

平成14年度 三隅友子

平成15年度 大石寧子

平成16年度 大石寧子

3. 実施概要

1) 開講状況

	14 年前期	14 年後期	15 年前期	15 年後期	16 年前期	16 年後期
常三島キャンパス	初(1) 中(1)	初(2) 中(1)	A(1) B(1)	B(1) C(1)	S(3) A(2) B(2) C(1)	A1(2) A2(2) B(2) C(1)
蔵本キャンパス	相(1) 入(1) 初(1) 中(1)	相(1) 初(2) 中(2)	A(2) B(1) C(1)	A(2) B(1)	A(2) B(2) C(1)	A1(2) A2(2) B(2) C(1)
新蔵キャンパス						
国際交流会館	初(1)					
合計回数	7	8	6	5	13	14

開講レベルまたはコース名、()内は週あたりのコマ数(2時間)

相・・・学習相談、入・・・入門、初・・・初級、中・・・中級

S・・・準集中講習型初級、A・A1・・・初級前半、A2・・・初級中盤、B・・・初級後半、C・・・中級

2) 平成14年度前期

① 国際交流会館(北島町)

期間 5月12日(日)～7月14日(日)

期間内毎週日曜日 午前10時～11時30分

講師 青木

② 常三島キャンパス

期間 5月7日(火)～8月6日(火)

時・日	月	火	水	木	金
7/8 14:35～		初級(金澤)			中級(青木)

③ 蔵本キャンパス

期間 5月7日(火)～8月6日(火)

時・日	月	火	水	木	金
15:00～		相談(河野)	入門(青木)	中級(河野)	初級(広田)

3) 平成14年度後期

① 常三島キャンパス

期間 11月8日(金)～2月7日(金)

時・日	月	火	水	木	金
7/8 14:35～	初級(青木)			初級(劉)	中級(青木)

② 蔵本キャンパス

期間 11月5日(火)～2月6日(木)

時・日	月	火	水	木	金
11:30～	相談(上田)				
15:00～	相談(上田)	中級(河野)	中級(河野)	初級(青木)	初級(広田)

4) 平成15年度前期

① 常三島キャンパス

期間 5月15日(木)～8月1日(金)

時・日	月	火	水	木	金
7/8 14:35～				日本語A(劉)	日本語B(青木)

② 蔵本キャンパス

期間 5月12日(月)～8月1日(金)

時・日	月	火	水	木	金
12:50～	日本語C(上田)				
14:30～	日本語A(上田)		日本語B(河野)		日本語A(広田)

5) 平成15年度後期

① 常三島キャンパス

期間 10月15日(水)～12月19日(金)

時・日	月	火	水	木	金
14:35～					日本語B(青木)
16:30～			日本語C(福岡)		

② 蔵本キャンパス

期間 10月15日(水)～12月19日(金)

時・日	月	火	水	木	金
12:50～			日本語B(河野)		
14:30～			日本語A(河野)		日本語A(広田)

6) 平成16年度前期

① 常三島キャンパス

期間 5月17日(月)～7月23日(金)

時・日	月	火	水	木	金
16:30～	日本語A(中村)	日本語S(大石) 日本語C(三隅)	日本語S(福岡) 日本語B(長田)	日本語A(青木)	日本語S(石田) 日本語B(長田)

② 蔵本キャンパス

期間 5月17日(月)～7月23日(金)

時・日	月	火	水	木	金
10:25～	日本語C(上田)				
12:50～	日本語B(青木)		日本語A(長田)	日本語B(青木)	日本語A(長田)

7) 平成16年度後期

① 常三島キャンパス

期間 10月12日(火)～12月17日(金)

時・日	月	火	水	木	金
12:50～					
14:35～		日本語B(石田)			
16:20～	日本語A1(中村) 日本語A2(青木)		日本語A1(長田) 日本語A2(福岡)	日本語C(三隅)	日本語B(長田)

② 蔵本キャンパス

期間 10月12日(火)～12月17日(金)

時・日	月	火	水	木	金
10:25～	日本語A1(青木)			日本語A1(青木)	
12:50～	日本語A2(青木)				日本語A2(長田)
14:35～					
16:20～		日本語C(三隅)	日本語B(石田)		日本語B(青木)

異文化交流部門

1. 学生派遣関連

1) 派遣事業活動概要

- ・ 短期語学研修の整備および拡大
- ・ 学内派遣プログラムの整備と開発
- ・ 留学相談および事前指導（事前トレーニングを含む）

2) 活動実績（平成14年度後期以降のものについて記載）

①平成14年度

11月	留学説明会（常三島地区のみ） 文科省短期留学推進制度締め切り
12月	南イリノイ州立大学（SIU）への語学派遣検討
3月	UWS 短期語学研修派遣支援

②平成15年度

8～9月	UWS 交換留学生派遣支援（総合科学部3名） UWS 短期語学研修派遣支援 SIU 短期語学研修派遣支援
10月	留学説明会（常三島地区のみ）
11月	文科省短期留学推進制度締め切り
2～3月	SIU 語学研修派遣支援 UWS 語学研修派遣支援

③平成16年度

6月	復旦大学語学研修打ち合わせ
7月	留学説明会（常三島地区・蔵本地区）
8～9月	オークランド大学交換留学生派遣支援（総合科学部1名） UWS 短期語学研修派遣支援 SIU 短期語学研修派遣支援
10月	留学説明会（常三島地区・蔵本地区）
11月	文科省短期留学推進制度締め切り
2月	オークランド大学 English Language Academy 視察 UWS 短期語学研修派遣支援 SIU 短期語学研修派遣支援
3月	カナダ Brock 大学語学研修施設視察 歯学部テキサス大学短期派遣事前指導

3) 派遣実績

①【短期語学研修】

	平成 14 年度		平成 15 年度		平成 16 年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
UWS 短期研修	15	3	13	1	7*	5
SIU 短期研修	---	---	---	2	7	6
復旦大短期研修	4	---	0	---	11**	---

* 1名研修開始後すぐに帰国

** 1名研修途中で帰国

②【協定校への派遣】

年度	派遣先	学部・研究科	学科・専攻	センター 支援
平成 14 年度	FAU	工学研究科	電気電子工学専攻	
	AU	工学研究科	エコシステム工学専攻	
		工学研究科	機械工学専攻	
	慶北	人間・自然環境研究科	人間環境専攻	
		総科	人間社会学科	
		総科	人間社会学科	
武漢	総科	人間社会学科 (2名)		
平成 15 年度	FAU	工学研究科	電気電子工学専攻	あり
		工学研究科	エコシステム工学専攻	あり
		工学研究科	光応用光学専攻	あり
	AU	工学研究科	機械工学専攻	あり
	TU	栄養学研究科		
	武漢	総科	人間社会学科	
	UWS	総科	人間社会学科 (3名)	あり
平成 16 年度	FAU	工学研究科	機能システム工学専攻	あり
		工学研究科	情報システム工学専攻	あり
	慶北	人間・自然環境研究科	人間環境専攻	あり
	AU	総科	人間社会学科	あり
	武漢	総科	人間社会学科	

FAU : Florida Atlantic Univ.
AU : Auckland Univ.
TU : Texas Univ.
UWS : University of Wales, Swansea

4) 相談実績

2002 年後期より相談活動を開始。

正確な人数は次年度よりデータを蓄積していく予定であるが、週あたり 3~4 名の学生が相談に来ている。2004 年度後期からは相談に訪れた学生の要望に応じ、各学生に対し週に一回程度の相談業務を展開している。

5) English Chat Room

平成 16 年度より、総合科学部と共催で「English Chat Room」を月 2 回行っている。

相談業務

1. 概要

留学生センターが2002年4月発足以来、指導相談部門は一人体制で行った。留学生センターには英語、中国語、韓国語が話せるスタッフが多数いることで、日本語のできない留学生とのコミュニケーションには不自由はない。徳大に在籍中の留学生だけではなく外国人研究者および学外の徳大入学希望者から相談が増えている。常三島地区は常時相談できる体制であるが、蔵本地区は常時事務員一人と火曜日午後と金曜日午後には教員一人が加えて対応している。

留学生の交流の場として常三島地区には工学部の留学生相談室「OASIS」、総合科学部の「たより」が設置されており、さらに2004年4月からは蔵本地区の「留学生支援室」が設置された。各部屋にはインターネット接続の数台のパソコンやOA機器などを整備され、母国の情報収集や母国との連絡可能な環境が整った。

2. 相談内容

- 学習関係： 進学、指導教官、就職など
生活関係： 奨学金、アルバイト、居住、保証人など
その他： ビザ、トラブル、人間関係など

3. 留学生受け入れ支援活動

①2002年度

- 9月 外国人留学生のための進学説明会 東京会場、大阪会場
11月 日本留学フェア 中国（北京）
11月 中国大学訪問 北京大学、清華大学、北京科学大学、中国科学院、復旦大学、上海交通大学、同濟大学など
11月 多文化交流会の開催
12月 留学生センターホームページの構築
3月 日本語学校訪問 神戸、大阪、京都、岡山

②2003年度

- 9月 留学生のデータベースを構築
9月 外国人留学生のための進学説明会 東京会場、大阪会場
11月 多文化交流会の開催
3月 日本語学校訪問 東京、埼玉、京都、岡山

③2004年度

- 4月 蔵本地区留学生支援室の開設
8月 外国人留学生のための進学説明会 東京会場、大阪会場
10月 日本留学フェア 中国（青島、上海）
10月 中国大学訪問 北京大学、清華大学、北京科学大学、中国科学院、復旦大学、上海交通大学、など
11月 多文化交流会の開催

そのほか

1. 地域貢献

文部科学省地域貢献特別支援事業として、平成15.16年度の2年に渡り徳島大学は地域貢献プランに基づき活動を行った。留学生センターは本プランの「地域社会の人・物・心・体の総合支援」のうち開放実践センターと共に「地域社会の共生支援」である「多文化交流・地域共生支援」事業を実施した。

上記の地域貢献特別支援事業のほかにも、当センターの企画による講演会、シンポジウムも開催している。さらに日本語教育では、学生サポーター制度及び地域サポーター制度を確立し、留学生の日本語学習に支援を受けており、学外活動として県内各地域や小学校訪問を行っている。

1) 地域貢献特別支援事業

① 地域貢献特別支援事業のポイント

■異なる文化を持った人を受け入れ、共生を目指す地域社会を考える

～お互いの共生・協働への理解～

■地域に住む住民としての外国人と日本人の新たな関係を作る

～出会いと共存を考える場そして活動の提供～

■徳島という地域での独自の共生の有りかたを住民で考える

～将来、未来を予測した共生、その担い手に課題として提示～

② 地域特別支援事業の概要

留学生センターは、留学生・在住外国人と地域の住民の連携を支援する活動を行った。

■人材育成

i) 主な講座と講演会

<講座>

●2003.10～12及び2004.5～7(各計6回)於：徳島大学開放実践センター

「国際交流ボランティア入門講座～地域の外国人支援～」

<講演会>

●2004.3.1 於徳島県国際交流協会 徳島県在住外国人相談支援ネットワーク会議

「外国人住民と日本人住民が住みやすい地域づくり～愛知県外国人集住団地での活動から～」

●2005.1.21 「災害時の外国人支援について、一緒に考えてみましょう」

ii) 学校教育支援

<御所小学校(土成町)> 徳島大学の留学生が小学校へ訪問し、体験型学習を行う。

●2003及び2004.11(小4「世界の遊び」：留学生と日本と世界の遊びを体験、計40名)

●2004及び2005.2(小6「小麦と暮らし」：留学生と小麦粉を使った調理実習、計40名)

<徳島市立高校>

●2002～2004年現在(1～2年次にかけて1学年約360名が2年で約700名が参加)

マレーシア・シンガポールへの修学旅行準備として、異文化体験学習プログラム作成の支援とマレー語学習の教材作成を行う。

2) 地域社会の国際化支援活動

① 講演会および勉強会

■平成14年度

- i) 講演会 姫野昌子 放送大学教授 (放送大学共催)
- ii) 講演会 甲斐睦朗 国立国語研究所所長
- iii) 勉強会 姫野昌子 放送大学教授 (総合科学部共催)

■平成15年度

- i) 講演会 田中克彦 中京大学教授
- ii) シンポジウム 阿曾沼一成 立命館大学総務部付部長
岡崎智己 九州大学教授
越前谷明子 東京農工大学教授
近藤祐一 南山大学助教授

■平成16年度

- i) 勉強会 足立祐子 新潟大学助教授

② そのほか

- 平成15年度 研究交流 梁安玉 香港市城大学講師 来学
- 平成15年度 研究交流 宮副裕子 香港理工大学教授 来学

3) サポーター制度

平成15年度より試験的に実施していたサポーター制度を平成16年度より本格的に稼働し始めた。サポーター制度は、「学生サポーター」と「地域サポーター」で構成されたメンバーが、留学生教育の現場の必要に応じて留学生の日本語学習等に協力する制度である。留学生にとっての利点のみではなく、日本人学生や地域社会の国際理解に大きく役立つ双方向的活動として認知されつつある。

平成16年度末現在で、学生サポーターは約60名、地域サポーターは約20名登録されている。

2. センター業務としての出張

1) 大石寧子

2002年度

- 茨城大学留学生センターシンポジウム
- 岡山大学留学生センターフォーラム

2003年度

- 佐賀大学留学生センターシンポジウム
- 東京工業大学、横浜国立大学「日韓共同理工系学部留学生受け入れに関する調査」

2004年度

- 東京工業大学「平成16年度全国国立大学留学生センター長及び留学生課長等合同会議」(センター長代理)
- 東京工業大学「H16年度日韓共同理工系学部留学生事業協議会」
- 昭和女子大学「日本語国際研究大会」

■JICA 東京国際センター「u-Campus(次世代 e-Learning の研究開発)に係る調査」

2) 三隅友子

2002 年度

- 高知大学 「中・四国大学共通教育協議会」
- 留学生交流研究協議会 広島大学主催 於ホテルグランヴィア広島
- 茨城大学留学生センターシンポジウム 於茨城大学
- 香港・広州出張 香港及び広州地区の五大学を訪問し日本語教育の現状調査を行う。

2003 年度

- 中・四国大学共通教育協議会 於愛媛大学
- 山口大学留学生センターシンポジウム 於山口大学

2004 年度

- 中・四国大学共通教育協議会 於島根大学

3) 金成海

2002 年度

- 東京大学「国立大学留学生センター留学生指導担当研究協議会」
- 東京「2002年外国人留学生のための進学説明会」
- 外国人留学生実地見学旅行引率 (京都, 大阪, 神戸)
- 「2002年日本留学フェア(中国)」および交流協定校訪問
- 琉球大学「国立大学留学生センター指導部門」シンポジウム
- 日本語学校訪問 京都, 大阪, 岡山など

2003 年度

- 東京大学「国立大学留学生センター留学生指導担当研究協議会」
- 外国人留学生実見学旅行(伊方原子力発電所) 引率
- 東京「2003年外国人留学生のための進学説明会」
- 大阪外国語大学「平成15年度国費留学生への大学進学説明会」
- 富山留学生センター「第4回教育・研究フォーラム」
- 大阪大学「第22回大阪大学留学生教育・支援協議会(兼:平成15年度第2回国立大学留学生指導研究協議会)」
- 外国人留学生実地見学旅行引率 (鳥取)
- 日本語学校訪問 東京, 埼玉, 京都, 岡山など

2004 年度

- 鳥取大学「平成16年度中国・四国・九州地区留学生交流研究協議会」
- 東京大学「国立大学留学生センター留学生指導担当研究協議会」
- 大阪「2004年外国人留学生のための進学説明会」
- 外国人留学生見学旅行引率 (伊方原子力発電所)
- 「2004年日本留学フェア(中国)」および交流協定校訪問
- 大阪外国語大学「平成16年度国費留学生への大学進学説明会」
- 大阪大学「第24回大阪大学留学生教育・支援協議会(兼:平成16年度第2回国立大学法人留学生指導研究協議会)」
- 外国人留学生実地見学旅行引率 (鳥取)

4) 坂田浩

2003年度

- 日本留学フェア(タイ・ベトナム)
- 宇都宮大学留学生センター主催シンポジウム出席

2004年度

- UWSとの交流協定に関する協議
- 東京「2004年外国人留学生のための進学説明会」
- 外国人留学生実見学旅行(伊方原子力発電所) 引率
- オークランド大学語学研修施設視察
- ブロック大学(カナダ)語学研修施設視察

5) 上田崇仁

2002年度

- 富山大学留学生センターシンポジウム
- 岡山大学留学生センターフォーラム
- 佐賀大学留学生センターシンポジウム

2003年度

- 茨城大学留学生センターシンポジウム
- 広島大学留学生センター研究会
- 広島大学留学生センター日韓共同理工系学部留学生受け入れに関する調査
- 富山大学留学生センター日韓共同理工系学部留学生受け入れに関する調査

2004年度

- u-Campus(次世代 e-Learning の研究開発)に係る調査 JICA 東京国際センター

留学生センター人員名簿（2005年3月現在）

留学生センター長

市川哲雄 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授

留学生センター教員

大石寧子 教授・副センター長

三隅友子 教授

金 成海 教授

坂田 浩 助教授

上田崇仁 助教授

留学生センター運営委員会

永田俊彦 学長補佐（国際関係担当）

桂 修治 教授（総合科学部）

太田房雄 教授（大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・医学系）

西野瑞穂 教授（大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・歯学系）

樋口富彦 教授（大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・薬学系）

伊坂勝生 教授（工学部）

長篠博文 教授（医学部）

福井 清 教授（分子酵素学研究センター）

篠原康雄 教授（ゲノム機能研究センター）

留学生課職員

課長 秋山英治

専門員 安藤松太郎

係長 福川利夫

係員 松尾麻里子

尾崎 綾

支援室（蔵本）柴田幸子

非常勤講師

中村倫子

福岡礼子

石田 愛（共通教育センター）

山田久美子（共通教育センター）

謝金講師

青木洋子

石田 愛

長田佳奈子

中村倫子

福岡礼子

留 学 生 数

(各年度とも5月1日現在)

1) 全体数の推移

区分/年度	14年度	15年度	16年度
国 費	36	46	43
政府派遣	11	9	5
私 費	105	138	155
計	152	193	203

2) 所属別推移

① 平成14年度

所属/区分	学部学生			大学院生			研究生等			合 計		
	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費
総合科学部	4	2	0	14	12	2	2	2	0	20	16	2
医学部				33	15	9	1	1	0	34	16	9
歯学部				14	8	8				14	8	8
薬学部				6	1	3	1	0	0	7	1	3
工学部	13	4	0	56	13	14	7	0	0	76	17	14
医療技術 短期大学	1	1	0							1	1	0
合 計	18	7	0	123	49	36	11	3	0	152	59	36

② 平成15年度

所属/区分	学部学生			大学院生			研究生等			合 計		
	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費
総合科学部	6	1	0	13	11	0	19	12	2	38	24	2
医学部				44	19	13	1	0	1	45	19	14
歯学部				15	7	5	0			15	7	5
薬学部				7	2	3	0	0	0	7	2	3

工学部	17	6	0	59	13	17	6	1	0	82	20	17
医療技術 短期大学	1	1	0							1	1	0
日本語研修生							5	3	5	5	3	5
合 計	24	8	0	138	52	38	31	16	8	193	76	46

③ 平成16年度

所属/区分	学部学生			大学院生			研究生等			合 計		
	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費
総合科学部	8	2	0	16	12	1	13	10	1	37	24	2
医学部				48	23	11	1		1	49	23	12
歯学部				15	8	7				15	8	7
薬学部				9	2	6	1	0	0	10	2	6
工学部	24	8	0	58	14	14	8	1	0	90	23	14
日本語研修生							2	2	2	2	2	2
合 計	32	10	0	146	59	39	25	13	4	203	82	43

3) 国籍別

① 平成14年度

区分/国又は地域名	学部学生			大学院生			研究生等			合 計			
	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	
アジア	中国	7	2		59	26	10	8	2		74	30	10
	韓国				8		4	1			9	0	4
	台湾				2	2					2	2	0
	マレーシア	9	4		1						10	4	0
	インドネシア				5	1	3				5	1	3
	バングラディシュ				10	5	2				10	5	2
	スリランカ				1						1	0	0
	ミャンマー				1		1				1	0	1
	ヴェトナム	2	1		4	1	3				6	2	3
	カンボジア				2			1			3	0	0
	フィリピン				1	1	1				1	1	1
	タイ				1			1	1		2	1	0

	モンゴル				1	1				1	1	0	
	ラオス				1					1	0	0	
中近東	イラン				3	2	1			3	2	1	
	ヨルダン				1					1	0	0	
	シリア				4		1			4	0	1	
中南米	ブラジル				2	1	1			2	1	1	
	ペルー				1		1			1	0	1	
	メキシコ				1	1				1	1	0	
	ベネズエラ				1	1	1			1	1	1	
欧州	エストニア				1	1	1			1	1	1	
	クロアチア				1	1	1			1	1	1	
アフリカ	モザンビーク				1					1	0	0	
	エジプト				5	3				5	3	0	
	チュニジア				2	1	2			2	1	2	
	ケニア				2		2			2	0	2	
ニア オセア	トンガ王国				1	1	1			1	1	1	
合計 28ヶ国		18	7	0	123	49	36	11	3	0	152	59	36

② 平成 15 年度

区分/国又は地域名	学部学生			大学院生			研究生等			合計			
	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	
アジア	中国	14	2		76	32	14	17	9	2	107	43	16
	韓国				8		3	3	2		11	2	3
	台湾				2	2					2	2	0
	マレーシア	7	4		1						8	4	0
	インドネシア				7	3	3				7	3	3
	バングラディシュ				9	3	5	2	1	1	11	4	6
	スリランカ				1						1	0	0
	ミャンマー				1		1				1	0	1
	ヴェトナム	3	2		5	3	3				8	5	3
	カンボジア				3						3	0	0
	フィリピン				1	1					1	1	0
	タイ				1			1	1	1	2	1	1
	インド							1		1	1	0	1
	モンゴル				1	1					1	1	0

	ラオス				1					1	0	0	
中近東	イラン				6	2	1			6	2	1	
	ヨルダン				1					1	0	0	
	シリア				3					3	0	0	
中南米	ブラジル				1		1			1	0	1	
	メキシコ				1		1	2	1	2	3	1	3
	キューバ							1		1	0	1	
	ベネズエラ				1	1	1			1	1	1	
ヨーロッパ	連合王国							2	1		2	1	0
	フランス				1		1	1	1		2	1	1
	クロアチア				1	1	1				1	1	1
アフリカ	エジプト				3	2		1			4	2	0
	チュニジア				1	1	1				1	1	1
	ケニア				2		2				2	0	2
合計 28ヶ国		24	8	0	138	52	38	31	16	8	193	76	46

③ 平成16年度

区分/国又は地域名	学部学生			大学院生			研究生等			合計			
	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	
アジア	中国	24	6		75	33	13	17	8	1	116	47	14
	韓国				9	1	3	3	3		12	4	3
	台湾				2	2					2	2	0
	マレーシア	5	3		2						7	3	0
	インドネシア				6	3	4				6	3	4
	バングラディシュ	1			13	4	7				14	4	7
	スリランカ				1						1	0	0
	ヴェトナム	2	1		4	3	2				6	4	2
	カンボジア				2						2	0	0
	フィリピン				1	1					1	1	0
	タイ				2	1					2	1	0
	インド							1		1	1	0	1
	モンゴル				1	1					1	1	0
	ラオス				1						1	0	0
中近東	イラン				9	3					9	3	0
	ヨルダン				1						1	0	0
	シリア				2						2	0	0

中南米	ブラジル				1		1	1	1	1	2	1	2
	メキシコ				4	2	3				4	2	3
	コロンビア				1		1				1	0	1
	アルゼンチン				1	1	1				1	1	1
	ベネズエラ				1	1	1				1	1	1
ヨーロッパ	フランス				1		1				1	0	1
	ドイツ							2			2	0	0
	セルビア							1	1	1	1	1	1
	クロアチア				1	1	1				1	1	1
リカ アフ	エジプト				4	2					4	2	0
	エチオピア				1		1				1	0	1
合計 28ヶ国		32	10	0	146	59	39	25	13	4	203	82	43

徳島大学留学生センター年報 第1号

徳島大学留学生センター

〒770-8502

徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地

088-656-7082 (留学生課)

<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>